

「生活支援コーディネーター（以下SC）って普段どんなことをしているの?」「どんな仕事なの?」というお声を解決するため、深川市のSC活動の一部をお届けするものです。今回ご紹介していること以外にも、通いの場の紹介や立ち上げ支援、ちょっとした困りごとの対応などこの他にも日々様々な活動をしています♪

旭区女性の会モルック体験会（活動の応援）

3/12に実施した旭区茶話会の中で「女性の会が衰退している」と相談あり。また、活動再開のきっかけとして、モルックをやってみたいとの声。三好SCもサポートしながら、5/19にさっそく旭区女性の会モルック体験会を実施。第1回は老人いこいの家で行い、第2回は6/10にリハビリルーム開放日に合わせて行いました。



老人いこいの家でモルック



リハビリルーム開放日



Hさんが講師のイーゼルづくり

毎月第1.3月曜日に開催されている西町男塾でモノづくりが得意なHさんが講師となりイーゼルづくりが行われました。みなさん夢中になってオリジナルのイーゼルを作っていました。



作成時の様子



完成したイーゼル

Kさんの得意をお土産に

裁縫が得意なKさん。帽子のカタチをしたかわいらしいブローチをたくさん作っており、誰かに喜んでもらえたらという思いがあることを知りました。開西町おむすびサロンで行われたゲームの景品になったり、郵便局の一角に置かせてもらったりしておりみなさん喜んで持って帰っています。



Kさんの作品たち



開西町モルック

あけぼの買い物ツアー打合せ

6月26に予定しているあけぼの買い物ツアーの打ち合わせをあけぼの地区にお住まいの方と社協のコーディネーターで行いました。みなさんと、地域に住む方のために色々なアイデアを出し合っていました！当日は社会福祉協議会で貸し出しをしている福祉車両を活用することに...!



打合せ中



福祉車両の説明

はじめの一步をお手伝い

「誰かと交流したい」「でも一人では勇気が出ない...」SCはそういった声も聞き逃しません。人と人をつなぐ、それもSCのお仕事のひとつです。声をあげてくれたSさん、Aさんに近くのサロンを紹介し顔の見える関係づくりの後押しをしました。



生活支援協議会について（※深川市では年5～6回開催しています）

「生活支援協議会」とは、地域で安心して暮らせるように、みんなで話し合う「よりあい」のようなものです。たとえば「高齢者がひとりで買い物に行けなくて困っている」「近所の人との関わりが希薄になっていて一人で不安」などこんな「困ったこと」を行政や社会福祉協議会、地域の方、移動支援に関わる機関など、いろんな立場の人が集まって話し合い、どうやって助けられるかを考えます。つまり、地域で支え合って暮らしていくための話し合いの場なのです。

深川市の公式LINE
※登録方法はお尋ねください



協議会の様子



三好SC

みなさんへ

地域で「困ってる人がいる」「素敵な趣味や特技がある!」「こんないい情報あるよ!」などあれば、気軽に介護予防係につぶやいてください^^また、記事の中に気になることがあればお尋ねくださいね。